

オホーツク管内におけるノハラツグミ *Turdus pilaris* の初記録

嶋崎 太郎*・城石 一徹・川崎 康弘

日本野鳥の会オホーツク支部, 099-3452 北海道斜里郡小清水町72-25

SHIMAZAKI Tarou*, SHIROISHI Ittetsu & KAWASAKI Yasuhiro: First record of
Fieldfare from Okhotsk Subprefecture

*✉ tarobe131@gmail.com

Keywords Fieldfare, *Turdus pilaris*, Okhotsk subprefecture, Kitami city, Koshimizu town

はじめに

ノハラツグミ *Turdus pilaris* は、日本においては迷鳥とされるヒタキ科の鳥で(真木ら2014, 叶内ら2014)、北海道においても迷鳥とされている(河井ら2013)。本種は近年になり道央・道北を中心に記録が増えてきており(木村2014, 北海道野鳥愛護会広報部2015, 田中・先崎2017, 先崎・先崎2018, 早坂2018など)、2020年にも2月に新ひだか町(国内初か、静内で3個体 珍鳥ノハラツグミ【新ひだか】、日高報知新聞、2020年3月18日)などで複数個体が確認されている。しかしながら、オホーツク総合振興局管内ではこれまで本種の記録はなかった。

筆者らは、2020年2月に北見市常呂町と小清水町において本種をそれぞれ1羽確認した。これはオホーツク総合振興局管内における本種の初記録となるのでここに報告する。

北見市常呂町の記録(図1, 図2)

2020年2月2日15:30頃、嶋崎と城石は北見市常呂町栄浦のサロマ湖畔において本種1羽を観察・撮影した。本個体は、ツグミ *Turdus eunomus* 約20羽の群れと行動を共にしており、エゾノコリンゴ *Malus baccata* var. *mandshurica* の実を食べていた。同所にはこのほかにヒヨドリ *Hypsipetes amaurotis*、ムクドリ *Sturnus cineraceus*、シメ *Coccothraustes coccothraustes* などが見られ、同じようにエゾノコリンゴの実を食べるために訪れていた。本個体と同一と思われる個体の終認は、2月3日早朝の渡辺義昭氏(北海道カワウ研究会)によ

る観察である。ただし、2月15日に約4km離れた北見市常呂町栄浦のワッカ原生花園において本種1羽を川崎が観察・撮影しており、2月2日～3日に観察された個体と同一個体である可能性がある。



図1. 北見市常呂町栄浦で観察されたノハラツグミ。2020年2月2日。嶋崎撮影。



図2. 北見市常呂町ワッカ原生花園で観察されたノハラツグミ。2020年2月15日。川崎撮影

小清水町の記録(図3)

2020年2月6日, 小清水町浜小清水において湯浅史実氏により本種1羽が確認され, 2月7日には川崎も確認した。本個体は, 植栽されているハマナス *Rosa rugosa* の実を食べるために道の駅の花壇を訪れており, 比較的警戒心が薄く, 至近距離で観察できた。本個体は, 眉斑の形や羽の模様などが常呂町の個体とは異なることから, 別個体と判断された。同所ではツグミ, ヒヨドリ, キレンジャク *Bombycilla garrulus*, カワラヒワ *Chloris sinica* などが同様にハマナスの実を食べに訪れていたが, ノハラツグミは単独で行動しており, ツグミやヒヨドリに追い払われることもあった。本



図3. 小清水町浜小清水で観察されたノハラツグミ。2020年2月11日。嶋崎撮影

個体の終認は2月11日夕方で, 城石による観察である。

謝辞

先崎愛子氏には観察記録や文献を紹介して頂いた。渡辺義昭氏と湯浅史実氏には観察記録を提供頂いた。ここに御礼申し上げる。

引用文献

- 早坂泰夫. 2018. ノハラツグミ. 北海道野鳥だより 191: 5.
- 北海道野鳥愛護会広報部. 2015. 道内各地でノハラツグミの観察記録. 北海道野鳥だより 180: 7.
- 叶内拓哉・安部直哉・上田秀雄. 2014. 新版日本の野鳥. 山と溪谷社, 東京.
- 河井大輔・川崎康弘・島田明英・諸橋淳. 2013. 新訂北海道野鳥図鑑. 亜細西社, 札幌.
- 木村耕. 2014. 札幌市および江別市におけるノハラツグミの観察記録. 北海道野鳥だより, 176: 8.
- 真木広造・大西敏一・五百澤日丸. 2014. 日本の野鳥 650. 平凡社. 東京.
- 先崎啓究・先崎愛子. 2018. ノハラツグミ観察記. BIRDER33(1): 42.
- 田中史雄・先崎啓究. 2017. ノハラツグミの観察記録. 北海道野鳥だより 186: 7.